

国語科 中学校1年

単元名 古典との出会い
「蓬萊の玉の枝『竹取物語』から」
光村図書「国語1」

単元の流れ（全6時間）

【第1時】

主な学習内容

- ・学習の目標・計画にしたがって、見通しをもつ。
- ・本文を通読する。
- ・意味の分からない語句を挙げ、現代語訳で確認する。

【第2時】

主な学習内容

- ・冒頭文の原文を繰り返し音読する。
- ・冒頭文の歴史的仮名遣いを正しく読む

【第3・4時】

主な学習内容

- ・現代語訳を参照しながら、原文を読む。
- ・場面や情景、人物の関係や心情などを読み取り整理する。

【第5時】（本時）

主な学習内容

- ・「蓬萊の玉の枝」の部分音読する。
- ・くらもちの皇子の心情や人物像を考えながら、音読を工夫する。
- ・グループ内で音読を評価し合い、練習する。
- ・グループ内で評価の高い者が、代表で音読する。

【第6時】

主な学習内容

- ・「蓬萊の玉の枝」の部分の音読テストをする。
- ・学習のまとめをする。

単元目標

- 古文を音読して、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れる。

単元構成の意図

- ・原文を繰り返し音読し、時代を超えて読み継がれてきた古典特有のリズムを味わい、古典に親しむ。
- ・場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解したうえで音読し、生徒相互で評価し合うことで、古典の文章やリズムに興味を持てるようにする。

「活用」の力を育てるポイント

- ①作品から読み取った登場人物の人物像や心情、場面や情景を音読の工夫に生かす。
- ②音読表現の工夫の目標、具体的な方法を計画させ、具体的な工夫を意識させる。
- ③他人の音読を聞いて評価したり、自分の音読を評価してもらったりして、どのような表現が効果的かを考え、自分の表現に生かす。
- ④音読を通して、古典の世界を味わい、今も昔も変わらない人間の生き方・感情を感じ取ろうとする。

HOME

本時の流れへ